

第2回 岡山市総合交通計画策定調査検討会 議事録

日時：平成29年3月21日（火）10:00～

場所：ピュアリティまきび「白鳥」

■質疑の要旨（1/4）

組織名	質問・意見	事務局回答
阿部理事・副学長 岡山大学	・作業部会の主な意見をふまえて、参考資料2の内容を見直し、今回の資料1-1のコンセプトが出てきたということか。	・そのとおりである。作業部会で、自動車利用の抑制が目標ではなく、移動に困っている方がいかにスムーズに移動できるかという視点であるべき、というご指摘があり見直した。
	・目標の4つ目、「参加・協働により交通政策を進める」は、どのような位置付けか。	・3つの目標を市民の参加・協働で進めることを考えている。目標としては4つ目として掲げることになる。
	・コンセプト・目標については、大きな異論はなかったもので、この方向で進めることとし、将来の見通しについて、多くの意見があったので、作業部会の方で、引き続きご議論いただきたい。	—
橋本准教授 岡山大学	・施策検討の中で、自動運転については、歩いて楽しいまちづくりの起爆剤になる可能性がある。	—
	・アンケート調査で把握された公共交通の運賃や本数のニーズをどのように実現するのか。公共交通への行政の財政負担に関しても、今後の議論としたい。	・アンケート調査で市民ニーズが確認できたので、具体的にはまだ考えていないが、調査を実施したからには、少しでもここに向けて何等か考えていきたい。
高橋所長 日本政策投資銀行	・計画目標は、生活スタイルやまちのあり方に関する内容となっているが、KPIについても、回遊性向上など、まちづくりの視点も含めた内容になるという方向感で良いのか。	・今後、交通体系の将来像や実現化方策について、まちづくりとセットで検討していく中で、KPIに関しても、その観点で整理していきたいと考えている。

第2回 岡山市総合交通計画策定調査検討会 議事録

日時：平成29年3月21日（火）10:00～
場所：ピュアリティまきび「白鳥」

■質疑の要旨（2/4）

組織名	質問・意見	事務局回答
沼本電車事業部 副本部長 岡山電気軌道株式会社	・現在、日本の路線バスは、市民ニーズに基づいて運行している為に複雑でわかりにくいと言われるが、海外の路線バスは都市計画に基づいて分かりやすくなるように運行を計画するという考え方だと、視察に訪れたオランダの方に聞いた。	—
	・海外事例を資料として提出されているが、その中のポートランドは、運賃収入でまかなえているのは運営費の20%程度であったかと思う。そのあたりの数字をしっかり出して、岡山市の覚悟を事業者に伝えていただきたい。	—
	・交通結節点については、どのように捉えているのか。道路幅員が限られた中でのバス待ち環境の改善や、P&R 駐車場の設置をどのように進めるのか。	・待合環境やP&R 駐車場の整備にあたっては、歩行者への影響や、経済活動やまちづくりへ配慮しながら、空間の確保を検討していく必要があると考えている。
政森専務理事 岡山県バス協会	・アンケート調査で把握した公共交通に対するニーズは、事業者や地域の協力、行政のタイアップがないと実現しない。課題については、もっと踏み込んだ議論が必要であり、現場の意見を聞きながら、進めることが重要である。	・（阿部委員）実現化方策や、進行体制のところで踏み込んだ議論をしていただきたい。
石井専務理事 一般社団法人岡山県タクシー協会	・アンケート調査において、タクシーはどのように捉えられているのか。また、今後のタクシーの位置付けはどうか。	・アンケート調査では、タクシーを含め、各交通機関の利用状況を確認している。今後は、周辺部の生活交通が重要な課題となり、乗合タクシーなど、交通体系に組み込んでいくことを考えていきたい。

第2回 岡山市総合交通計画策定調査検討会 議事録

日時：平成29年3月21日（火）10:00～

場所：ピュアリティまきび「白鳥」

■質疑の要旨（3/4）

組織名	質問・意見	事務局回答
高橋専務理事 岡山商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> 都心の交通量を考える際には、貨物車の流入量についても考慮する必要があるのではないか。人の動きだけを見るのではなく、経済活動の観点から、貨物運送にも配慮していただきたい。 	—
西専務理事 おかやま観光コンベンション協会	<ul style="list-style-type: none"> 現在の観光は、90%が個人旅行となっており、外国人や高齢者の多さや、地域経済の観点から、2次交通を使いやすくすることの重要性は高い。二度手間にならないように、今回の計画で加味していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> いかにスムーズな案内をするかということは、しっかり検討していきたいと考えている。事業者ごとや、施設ごとではなく、連続する、統一された、横をつなぐ案内となるよう、施策の中に盛り込みたい。
池田所長 国土交通省 中国地方整備局 岡山国道事務所	<ul style="list-style-type: none"> 自動車交通を減らすことが目的となてはいけませんが、何らかの目的を達成するための手段として自動車交通を減らすことは場合によっては必要。例えば、バスの遅延等を抜本的に解決するには、自動車交通を減らす必要がある。その場合、過度な自動車交通とは何かを峻別する必要があると考える。 都心部に自動運転を入れると、歩行者や自転車に対する過度な配慮から、大渋滞が生じる可能性があり、抜本的な道路等の整備計画を打ち出さなければ導入は難しいと個人的に考えているが、事務局として、自動運転技術がどこまで発達するという前提でこの計画を策定するのか。 	<ul style="list-style-type: none"> — 自動運転について、今後の見通しが不明瞭な状況だが、想定以上に開発が進んだ場合は、計画に取り込めるようにしておきたい。

第2回 岡山市総合交通計画策定調査検討会 議事録

日時：平成29年3月21日（火）10:00～
場所：ピュアリティまきび「白鳥」

■質疑の要旨（4/4）

組織名	質問・意見	事務局回答
赤木支局長 国土交通省 中国運輸局 岡山運輸支局	<ul style="list-style-type: none"> コンパクトでネットワーク化されたまちづくりにおいては、郊外部に駐車場を整備したり、都心は電車の環状線を整備するなど、ダイナミックなことも検討すべき。 バス専用道路や専用軌道など、自動運転をしやすい環境を整備していくことも考えられる。 	—
北川課長 国土交通省 中国運輸局 交通企画課	<ul style="list-style-type: none"> 総合交通計画に掲載する施策はどの程度具体的に掲載されるのか。たとえば、別途検討されている路面電車の乗り入れや、吉備線のLRT化等が計画にどう反映されるのか教えていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 都市交通戦略を発展させて、可能な限り具体的に掲載していきたい。その中で、吉備線LRT化や路面電車の岡山駅乗入れ、環状・延伸についても、出来るだけ具体的に盛り込んでいきたいと考えている。
鹿子木都市・交通・公園担当局長 岡山市 都市整備局	<ul style="list-style-type: none"> 目標3の「歩いて楽しい都心空間に変える」という表現は、まち側の視点であるので、例えば、「誰もが楽しめる空間をめざす」、「交流を促進する」等の人中心の表現を追加してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見を参考に修正する。

